



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第340号

2017年11月13日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

75歳以上の医療保険料が来年度改定

75歳以上を対象にした後期高齢者医療制度の保険料が来年4月改定されます。保険料は2年ごとに都道府県ごとに運営される後期高齢者医療広域連合で決定されます。前回の2016年4月改定では、保険料は全国平均で年6万7904円に、千葉県では6万9816円になるなど増額傾向が続いています。

一人ひとりの保険料は所得などによって異なりますが、消費税増税や生活必需品の値上げなどで、年金が目減りするなか、高齢者の暮らしに重くのしかかっています。保険料を払いきれない高齢者も増えています。

高齢者医療の実態が反映されない医療懇談会

来年4月の保険料改定などについて10月13日、「千葉県後期高齢者医療懇談会」が開かれました。この懇談会は、被保険者、医師、医療保険者などで構成され、保険事業や保険料などについて審議し、広域連合に意見などを述べる機関です。今回の懇談会で広域連合事務局から保険料改定について「1月に試算を行い、千葉県と協議し同意をいただき、2月14日開催予定の広域連合議会定例会において条例改正を行い、4月から新保険料を施行する」と説明されました。しかし、出席した懇談会の委員からは質問も意見もありませんでした。保険料が上がって払えない高齢者が増えている深刻な実態が行政に反映されない懇談会は、関係者から意見を聞いたという行政のアリバイ作りにすぎません。

財政安定化基金を利用して値下げを

後期高齢者医療制度は2008年、自民・公明政権が社会保障費削減を狙った「構造改革路線」の柱の一つとして導入しました。75歳になった人が、それまで加入していた国民健康保険などから切り離され、「後期」という別枠の制度に囲い込み、高齢者に負担増を迫る”年齢差別“の仕組みになっています。しかし、人は誰もが高齢となります。高齢になれば病気になりがちで、医療費がかかることは避けられません。



日本共産党は来年度保険料改定について、財政安定化基金を使って値下げすることを求めています。前回の保険料改定時には、23都道府県が基金などを使って保険料を値下げしています。同時に高齢者が生きるのがつらくなるような高齢者医療制度の廃止を求めます。